

学校関係者評価委員会報告書

令和4年11月28日

札幌歯科学院専門学校

札幌歯科学院専門学校学校関係者評価委員会を開催し、学校関係者評価委員よりいただいた評価結果について、下記のとおり報告させていただきます。
各委員よりいただいた評価結果を踏まえ、本学院の教育活動、社会・地域貢献等の学校運営全般について、更なる推進と改善を図って参ります。

一般社団法人札幌歯科医師会立札幌歯科学院専門学校学校関係者評価委員会

開催日時 令和4年11月28日(火) 18:52~19:37
開催場所 札幌歯科医師会館 2階 理事会室
出席者 学校関係者評価委員
諸留 裕 委員(一般社団法人札幌歯科医師会口腔医療センター所長)
松岡 円 委員(一般社団法人北海道歯科衛生士会札幌支部支部長)
八重樫新一 委員(公益社団法人北海道歯科技工士会相談役)
天道 紀子 委員(札幌歯科学院専門学校同窓会会長)

札幌歯科学院専門学校
山田 尚 運営委員長
尾崎 勝巳 学院長
杉本 祐子 副学院長
濱 秀樹 総務部長
市川 智恵 歯科衛生士科教務主任代行
村上 珠緒 歯科技工士科教務主任
平田 学 事務長
木本 勝彦 次長
長土居香織 係長

大項目	評価項目		評価 (とても良い4 良い3 やや悪い2 悪い1)	自己点検評価内容	関係者評価
教育理念・目的	1	学校の理念,目的,育成人材像,本校の特色を生かした将来構想が定められ,生徒・関係業界等へ周知されているか	3. 7	学生便覧に記載されている本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき, 歯科医師会立校であることや歯科衛生士科・歯科技工士科を併設している等の本学院の特徴を生かした両科による合同授業, 歯科医療界の需要に即した各授業内容の工夫により, 歯科医療従事者の一員として地域歯科医療に貢献できる即戦力を目指す教育を実施している. 保護者・学生に対して入学時のオリエンテーションにて説明する他, 学校案内や学生便覧を配布することで周知している.	教育理念、目的に沿った運営や歯科医師会会立校として、歯科衛生士科、歯科技工士科を併設している特色を生かした教育を引き続き行っていただきたい。
	2	各学科の教育目標,人材育成像は、学科に対応する業界の需要に向けて方向づけられているか	3. 8	歯科医師会立校として、現役歯科医師の指導により対応している他, 即戦力となる人材を育成するためのカリキュラムを組んでいる. 日進月歩な歯科医療の需要に対応するため、各関係団体との連携情報収集などにより, 時代に合った人材育成のための情報収集を行っている.	歯科保健医療は、歯科医師会と歯科衛生士会が相互に連携していることに強みがある。歯科衛生士会には研鑽を積む多くの場があり、多様性をもった歯科衛生士の重要性を考えた場合、学生時から歯科衛生士会へ入会することは大切であり、学生への周知方法について検討された。 同窓会を開催出来ていない状況が続いており、卒業生らが話す場を設けられていないことから、交流が希薄になっているため、同窓会の開催や開催方法について検討したい旨話された。
学校運営	3	目的に沿った運営方針,事業計画,体制等が策定されているか	3. 8	本学院の運営方針、事業計画等については, 運営委員会、教職員会等の各委員会にて審議、策定されており, その後、法人の総会において承認されている.	
	4	情報システム化等による業務の効率化や情報公開が適切になされているか	3. 2	一部文書の保管をデータ化することにより, 迅速に共有・閲覧する等の整備を整えている. 更なる効率化を図るための改善が必要である. また、必要の都度, ホームページの更新を図り, 学校情報や教育活動等について情報公開に努めている.	
教育活動	5	教育理念に沿った教育課程の編成,実施方針が策定されているか。	3. 5	教育理念に基づいたカリキュラムを編成しているが, 両科とも急速に技術発展を遂げる歯科医療現場において就職後即戦力となり得る人材を養成するため、講座運営（シラバス、教材、運営体制等）の見直しを必要の都度行っている. 医療人として社会貢献する人材育成のため, 一般常識まで培うことが出来る教育方法を実施している. また, 即戦力となる人材を育成するため, 臨床実習施設へ協力・連携を図り, 臨床実習を重視している. 加えて, 外部評価等による対外的な意見を反映することも必要だと考えている.	
	6	職員の能力開発のための研修などが行われているか。	3. 3	外部研修の参加費用については学校で負担し, 年に数回、全国歯科衛生士教育協議会・全国歯科技工士教育協議会が主催する研修会をはじめとする各種研修会へ出向させ, 教員の資質向上に努めている. また, FD・SD 協議会へ加盟し, 各種研修会へ参加できる体制を整えている. 年2回常勤講師に自らの目標を設定させ, 当該目標の設定水準・目標達成度等を基礎として総合的に評価を行っている. 今後, 職員の能力開発について指導や研修の機会を増やしていく必要がある.	

教育環境	7	施設,設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3. 3	<p>本学院会館増改築から38年経ち,設備面の劣化等が見込まれるため,会議等にて検討しており,令和3年度は外調機,講堂音響設備の更新を行った.</p> <p>歯科衛生士科基礎実習室には各自の机にモニター画面付きのマネキン診療台が設置されており,実習において学生が学びやすい環境整備に取り組んでいる.また,歯科技工士科実習室にCAD/CAMシステムを完備しており,CAD/CAM使用PCについては10台増設し,最新の学習が出来るようソフトも新調している.</p> <p>さらに,快適に学業に励めるよう学生用イスを新調した.ことや,コピー機を更新し,印刷経費が安価かつ速度が速いものへ変更したなど,随時必要とされる環境整備に取り組んでいる.</p> <p>コロナ禍の状況を踏まえ,昨年度同様オンライン授業を行っているほか,定期的にPCR検査を実施し感染予防・対策に努め,安心・安全な教育環境を整えている.</p> <p>今後,長期的に検討を重ね,札幌唯一の会立校として最高の環境を目指していきたい.</p>	<p>歯科衛生士科の国家試験の合格率が100%にいかないことが続いており,卒業認定,進級について厳しくすることやそれに見合うカリキュラムへの変更が検討された.</p> <p>また,AO入試の検討にあたり他校では国家試験受験に際し,基準を設けているところもあり,そのような対応についても検討する必要がある.</p>
学生募集	8	高等学校等の機関へ対する情報提供の取組が行われているか	3. 5	<p>副学院長・教職員が連携して広報活動を行っており,資料請求や学校訪問等下記のとおり随時説明を行っている.今後も高校訪問等を通して信頼関係を深めている.</p> <p>(1)オープンキャンパス 年間15回実施 Web:5回,対面:10回開催 参加者195人 年間開催が15回の予定であったところ,新型コロナウイルス感染症の影響により2回Webでのオープンキャンパスの実施に代えて行った,</p> <p>(2)進学相談会 33回参加 進学相談会の参加者は例年減少しているが,学生と直接話すことが出来る貴重な機会である.新型コロナウイルス感染症の影響により開催は多くはなかった.校内ガイダンス等,学生がより多く出席する相談会へ参加し,多くの生徒へ面談したいと考えている.</p> <p>(3)職業体験学習(中学校) 新型コロナウイルス感染症の影響により,中学校からの個別申込はなく,「進路探求オリエンテーリング」のみの開催となった..</p> <p>(4)高等学校訪問 158回実施(うち学生同行なし)</p> <p>オープンキャンパスや外部への広報誌等において記載し,正確に周知している.今後はSNSやオンラインでの対応も含めて,最新の情報をよりわかりやすく正確に伝える工夫が必要である.</p> <p>今後の課題として少子化における定員の確保,AO対策,コロナ禍にあり不十分であった募集活動について対応の改善を検討したい.</p>	<p>オープンキャンパスの参加人数の減少など,コロナによる理由だけとは言い難い状況である.</p> <p>国家試験合格率についても学生募集活動へ関わってくる問題であるため,本学院に入学すれば国家試験に受かると言えるようになることを期待したい.</p> <p>入学試験の区分では,AO入試について実施していないのは数校となっている.そのため,入学試験は10月では遅すぎる現状となっているため,AO入試の導入などの対応について検討いただきたい.</p>

	9	資格取得,就職状況等の教育成果は正確に伝えられているか	3. 6		
財務	10	中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3. 1	今年度入学生については定員を 9 割満たす事ができたが,数年前より入学者数が減少しているほか,会館設備の修繕費用も経常されていることにより,財政基盤はやや不安定になってきている.そのため,学生募集活動の充実化・退学希望者の減少・国家試験合格率の向上・支出等の見直しを行い,財務基盤の安定化に努める必要がある.	経年的に続いた定員減により、財務は昨年度決算より、赤字幅が増加の状況。施設の老朽化による建物の改修や引き続きの設備整備の必要性、併せて、少子化、コロナ等の影響を受けている。 財務基盤安定化のためにも学生募集活動の充実、退学者を出さない、国家試験合格率の向上、支出等の見直しなどを継続的に行っていただきたい。
	11	予算,収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3. 4	予算,収支計画については,審議項目が運営規程に明記されており,教職員会・運営委員会・理事会を通し, 予算,収支計画が策定される.法人の総会においても承認されている.	
法令等の遵守	12	法令,専修学校基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4. 0	歯科衛生士・歯科技工士学校養成所指定規則に従い,届出等について,必要事項を掌握し,適切に対応し,法令順守に努めている.	
	13	個人情報について保護対策が取られているか	3. 8	「札幌歯科学院専門学校における個人情報の取扱いについて」学院長が定めた規則に従い,本学院が保有する個人情報について管理者・管理方法・管理場所が明確となっており,学生等についても「個人情報に関する同意書・誓約書」を提出してもらっている. 実習施設との間で診療内容や個人情報の保護に関する誓約書を交わしており,学生にも十分注意をしている. 昨年度において違反する学生は無かった.	
社会・地域貢献	14	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献,地域貢献をおこなっているか	3. 3	北海道私立専修学校各種学校連合会主催札幌市市教委タイアップ事業「進路探求学習オリエンテーリング」を実施し,中学生に向けた歯科衛生士と歯科技工士の職業体験授業を行い,職業の認知・向上に努めている。 (参加校 9校 計 15名)	コロナの影響により、ほぼ、社会貢献活動が実施できていない状況となっている。 コロナの影響が今後緩和された際には、従前どおり実施をしていただきたい。また、実施した際は、マスコミに取り上げていただくなどの広報活動を行っていただきたい。
	15	生徒,学生のボランティア活動を奨励,支援しているか	3. 0	新型コロナウイルス感染症の影響により,例年実施している高齢者施設・障害者施設等における臨床実習を通じた市民の口腔衛生維持向上への貢献,及び 6 月に開催する「歯と口の健康週間事業」での口腔衛生に対する意識向上を図るイベント等へ参画出来なかった.	

※「専修学校における学校評価ガイドライン」(文部科学省)を基に作成